12mm　間隔 4mm

記事種目
(論文、報告、教材開発など、ゴシック、14 pt)

1 pt 又は 0.5mm の横線

原稿は、１行 24 字(/段)×40 行、２段組み（A4 版)、片面打ちの完成原稿。
余白は､上下２左右2cm、

論文

和文表題
ゴシック（半角英数はCenturyGothic)、18 pt、センタリング。2 行以上になる場合は行間を空けない。
副題
ゴシック（半角英数はCenturyGothic)、16 pt、センタリング、ダッシュで挟む

『専門日本語教育研究』原稿執筆要領
―投稿前にお読みください―

鈴木 花子[1]、佐藤 太郎[2]

著者名
ゴシック（半角英数はCenturyGothic)、12 pt、センタリング。連名の場合は「､」で並べ、著者番号を右肩に。

要旨
600 字以内、明朝、9 pt、1 行 45 文字程度、センタリング、1 段で書く（改行しない)。

要旨の見本です。

キーワード　6 個以内、明朝（半角英数は Century)、9 pt、センタリング

キーワード：専門日本語教育、ホームステイ、投稿規定、テンプレート、見本

１．はじめに

章の見出しに番号（1．など）をつける（ゴシック（半角英数はCenturyGothic)、12 pt、左寄せ)

１．１　小見出し

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

本文　明朝（半角英数は Century)10pt
「､」「。」を句読点に使用。

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

章の小見出しの前後は行を空けない。ゴシック（半角英数はCenturyGothic)、10pt、左寄せ。

１．２　小見出し

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにした

[1]〇〇大学▲▲学部教授
[2]〇〇大学大学院▲▲研究科博士後期課程

最初のページ左段下に著者の所属と職位を記入。
明朝（半角英数は Century)、9pt

がって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

2．調査対象

文の後は１行空けて、章題を書く。

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

キャプション下、又は、図上に文章が来る場合１行空ける。

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。

これは見本です。これは見本です。（表１）

キャプション上、又は、表下に文章が来る場合１行空ける。

表１　表見本

	教材1	教材 2
面白くて何度でも読み返したい。	3.96	2.62
読みやすい。	4.36	3.23
役に立たない。	3.39	4.14
重い。	3.42	3.84
価格が高すぎる。	3.65	4.05
索引がどこに配置されているのか分かりにくい。	4.38	2.63
誤字脱字が多すぎる。	4.13	3.13

表の挿入：
通し番号と見出しをつけ（明朝（半角英数は Century）、10 pt）、表の上の位置に記す。表は紙面の四隅に配置し、文章を分断しないようにする。横幅は１段幅、又は、２段全幅の２種類とする。

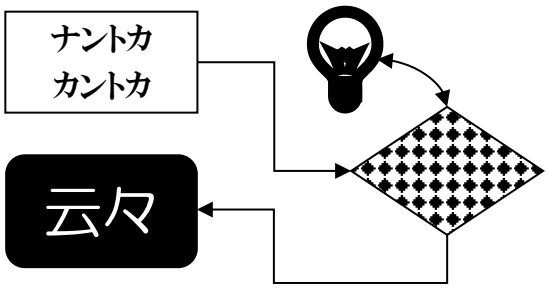

図１　図見本

図(写真含）の挿入：
通し番号と説明キャプション（明朝、10 pt）を、図の下の位置にセンタリングして記す。
図は紙面の四隅に配置し、文章を分断しないように。
横幅は１段幅か２段全幅の２種類。
印刷時の干渉縞を避けるために、網掛け、グレーは用いず、区別が必要な場合は線種やハッチングなどを用いる。
著者の提出した原稿をそのまま印刷するため、図・写真の質に注意する。写真はデジタルカメラで撮ったもの、またはスキャナーで取り込んだ画像を原稿に組み入れて提出する。それ以外の写真を使用したい場合は編集委員会に相談

3．結果と考察

「注」が必要な場合、本文中の関連箇所の右肩（フォント「上付き」を指定する）に「注1、注2、…」と記し、 論文末で解説する。脚注にはしない。

これは見本[注1]です。これは見本です。これは見本です。これ[注2]は見本です。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは見本です。

参考文献・引用文献は、本文中の関連箇所の右肩（フォント「上付き」を指定する）に番号を記し、末尾を参照させる。一つの関連箇所に複数の参考文献番号がある場合は、たとえば「3-6)」とする。２つの場合は「3,4)」のように書く

これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは見本です。これは見本です。これは見本です[1)]。

これは見本[1,2)]です。これは見本です。これは見本[1-3)]です。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これに

したがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは、見本です。これにしたがって、原稿の書式を設定してください。これは見本です。これは見本です。

注の見出し。ゴシック、10pt

注

注。明朝（半角英数は Century）、9pt

注１　大部分の会員が知らないような専門用語は解説する。

注２　注の記述はできるだけ簡潔にする。

参考文献の見出し。ゴシック、10pt

参考文献

参考文献の記述。明朝（半角英数は Century）、9 pt（英文献も同様）
文献は以下の順に解説：
雑誌の場合：著者、表題、雑誌名、巻、号、ページ、発行年
単行本の場合：著者、書名、発行所、発行年

1) 大阪太郎：科学技術日本語の読解過程，情報処理，Vol.1, No.1, pp.6-10（1960）

2) 学際高男・谷岡花子：会誌に投稿される方へ，専門日本語教育研究，第 6 号，p.85-86 (2004)

3) Feldman, J. and Gries, D.: Translator Writing System, Comm. ACM, Vol.11, No.2, pp.77-113(1968)

英文表題
Century Gothic 18 pt、センタリング

英文副題
Century Gothic 18 pt、コロンを入れ、続けて書く。

Subscription Information to Contributors: A Case of JTJE

SUZUKI, Hanako[1]　SATO, Taro[2]

[1]International Student Center, Tozai University

[2]Graduate School of Law and Politics, Namboku University

英文要旨
Century 10 pt、１段、200 語以内、１段落で書く。文頭は文字下げをしない。

Abstract in English Abstract in English.

keywords: technical Japanese education, home-stay, submission guidelines, template, sample

英文キーワード（Century 10 pt）
“**keywords:**” (Century Gothic)の後に半角スペースを入れ、最初のキーワードを書く。原則、小文字で書く。日本語のキーワードと対になるように書く。語頭は原則として小文字だが、固有名詞などは大文字にする。

英文著者名（Century Gothic 12 pt、センタリング）。
姓は全大文字、名は頭文字のみ大文字。
姓の後に「,」、名の順で書く。共著の場合、半角 2 スペース分を空け、共著者名を記載。
執筆者の右肩に数字（1，2，・・・、4 分の 1 角上付き）を付す。執筆者英文所属（Century 10 pt、センタリング）。先頭に数字（4 分の 1 角上付き）を付ける。